

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

# 福岡まさき

平成26年1月 後援会事務局発行 市政だより

十二月定例会



## 千里中央地区が大きく変わる (活性化と内外の状況変化)

### 千里中央商業地域再整備事業

#### 第1回…大阪府、豊中市が中心として実施

❖ 西町業務ゾーンに続き平成18年に行われた再整備事業で千里コラボ、千里中央病院、ヤマダ電機、千里タワーマンションなどが完成しました。

#### 第2回…よみうり文化センター再整備事業

❖ 平成26年春から建て替え事業が始まります。7階建て商業施設と51階建て超高層マンション、金融機関、商業店舗、クリニック等が入居し、全体の完成は5年後を予定しています。

#### 第3回…最大の再整備はこれから

❖ 千里セルシー、せんちゅうパル、千里阪急百貨店、旧大丸プラザなど中央ゾーンの再整備は現在、一層の活性化に向けたまちづくりの方向性をめざし「千里中央地区活性化ビジョン」の策定に関係者や行政が市民とともに取り組んでいます。現状のままでは人や車導線の混雑状況は解決されない。大胆な発想と使える手法は徹底的に駆使すべき。

### 周辺地域での動きも活発に!

#### ◇北急の延伸問題が動き出す

・大阪府は箕面市や事業者と北急の延伸問題について年度内合意を発表しました。建設費600億円の内、府が100億円、箕面市が300億円、事業者と国が残りを負担予定。不確定要素も多いが正式決定されれば是非成功させて欲しいものです。

#### ◇エキスポランド跡地の複合開発

・三井不動産が進める事業で延床面積25万㎡、300店舗の出店と水族館、教育施設、複合映画館、目玉は高さ130m日本一の巨大観覧車で利用客数年間2,000万人といわれています。これとは別にガンバ大阪新スタジアムも建設されます。

※ 千里中央は通過駅でなく北摂の新都心にふさわしい魅力ある「まちづくり」が求められます。関西で住んでみたいまちの上位にランクされるこの地域は、豊中市都市経営の中核部分であり、市の指導や果たすべき役割は重要です。

(千里居住の与党議員として影響力を行使します)

### 「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号  
TEL 6858-2620 (直通) FAX 6852-2384

### 自宅

〒560-0082 豊中市新千里東町2-7 C27-1109  
TEL 6833-7705 FAX 6831-1281

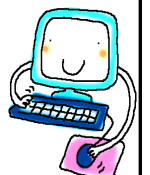
E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

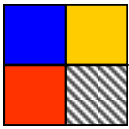
福岡正輝 ホームページもごらんください

<http://www.fukuokamasaki.com>

日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。

また、「市政だより」に掲載出来ない詳細部分はブログで公開しています。





# 【福岡まさき】

# 活動日記

## 豊私幼より会派への要望

豊中市私立幼稚園連合会(豊私幼)と新政とよなか議員団との定例懇談会を実施し、次の要請を受けました。

- 1.豊中市私立幼稚園保護者補助金の園児一人当たり市負担額の増額要請。
- 2.私立幼稚園一時保育事業において、開設する時間や曜日を、また、料金設定においても利用者利便に立った実施要項に変更してもらいたい。

豊中市の幼児教育については私立幼稚園32園の果たす役割は非常に大きく、私自身も会派としても市に対して支援制度の拡充を要請しています。

## 平成26年度予算要望を実施

予算編成時期を控え、11月26日にわが会派「新政とよなか議員団」としての予算要望を市長に対し行いました。

予算要望書の作成については、連日、団会議を開き議論を重ね私がまとめるのですが、あまりの間口の広さや複雑多岐にわたる項目の多さのため悪戦苦闘の連続です。

わが会派の予算要望書は18の部局に対し、例年約200項目くらいありますが、この1年間に実現したものと一部実現で要望内容を変更するもので約半数あります。内容については、あれこれおねだり型要望ではなく政策提言型要望が「新政とよなか」の特徴で、条例の制定や市政全般にわたってのアイデアの提供などが主なものとなっています。

予算要望書をご希望の方はご連絡を！

「福岡まさき」は豊中を変える政策集団「新政とよなか議員団」の一員として日々活動しています。「政治は結果とスピード」を信条として確実な成果をめざします。

## FM千里番組編成委員として

千里にコミュニティFM放送局があり、会社発足時からささやかながらもお手伝いをしています。この会社は千里中央(ライフサイエンスビル)にあり、可聴区域としては千里ニュータウン全域と豊中、吹田、箕面市の一部です。千里の活性化やまちづくりに取り組む私としては、コミュニティFMを応援することで少しでも千里の方々に千里を好きになってもらいたいという思いがあります。

先日も独立行政法人UR(都市機構)の依頼を受け、FM千里本社をお訪ねし、街の活性化について協力要請をしました。

現在、防災協定を豊中市、吹田市と締結しており、災害非常時には連携して両市の住民に対し最新の情報提供で貢献頂くことになっています。

ところが現状は、総務庁の規制が厳しいため可聴区域が限定され、豊中・吹田両市全市民に届いていないのです。何としても可聴範囲を広げることが今後の大きな課題です。

これからも千里や豊中、吹田両市民のお役に立てるよう取り組んでいきたいと考えています。



# 「いろいろブログ」



## 「キャンドルロード2013」その後

「千里キャンドルロード2013」については前月号でもお伝えしましたが、1万数千人の参加者や1,000名以上のボランティアが「あかりアート」の幻想的な夜と何とも言えぬ高揚感、連帯感、達成感を感じたことに尽きると思います。会場のあちこちから聞こえる感嘆の声、ありがとう、次回はいつですか、ボランティア参加はどうしたらいいですか、こうした多くの声がそれを物語っています。

その後、地域への関心やボランティア活動に興味を示される方も増え、早速地域団体行事でデビューされた方もおられます。こうした楽しい行事やイベントの実施は、税という公金を使わずとも地域の活性化や賑わいづくりを可能とします。行政には自主的な活動団体への側面支援を引き続き要請しました。

## 新たな決意で …

102歳になる母を特養施設で預かっていたくようになってから9か月が過ぎた。

一年前の昼夜逆転の日々、介護生活に夫婦ともダウン寸前となった、そんな記憶も薄れかけ、私たちの体力も回復し元気になると、もう少し自宅でやれたのではないかといまだに自責の念が ……

こんな思いを持ちながら訪問し感謝するのが職員さんの細やかな配慮や介助の姿勢だ。先日、2人のひ孫を含めた家族全員で訪問すると、元気に落ち着いた様子で「ほんまに有難い」と手を合わせる

姿を見て救われる思いと同時に、体験者だからこそそのような施策充実に取り組みねばの新たな決意が…



## ・その他には…

- 11月1日 議員団対市理事者 野球大会
- 11月3日 地元自治会祭り開催
- 12月1日 千里長谷池清掃奉仕
- 12月11日 建て替え問題 勉強会
- 12月22日 地域自治防災部会 実地訓練

## 「福岡まさき」市政報告会 開催

12月8日、「福岡まさき」市政報告会を開催しました。長年の地域活動から市議会議員に転じ、保守系市民派無所属議員として10年が経過したことになります。会場には日曜日の早朝にもかかわらず多くの方に出席いただきました。

報告会では30年以上の地域活動と事業経験が議員としての最大の財産となっていること。「このままでいいのか」の素朴な疑問と政策提言型政治を最大の特徴とする議員であることについてご説明しました。

そして、議員として取組み実現した主な施策、今後の取組み等について説明。

- ①開発者負担金の廃止に取組み、市内での住宅分譲価格の低下を実現。
- ②千里コラボの建設にあたり、施設配置の見直しと多目的スペース、交通弱者専用駐車場の設置。
- ③産業振興条例や地域自治推進条例の実現と空き家条例制定の取組み。
- ④その他・学校耐震化のスピードアップ・自販機収入(約100台分)を市の収入に・市立豊中病院のジェネリック医薬品使用率の向上・照明のLED化を提唱し実現など
- ⑤今後の取組みとして・大阪国際空港の有効活用・ごみ収集業務のコスト削減と民間委託・高齢化進展による安心・安全施策の取組み。など

最後に多方面からの質疑応答とアンケートのお願いをし終了しました。

いただいた提案やアンケートによる要請事項についてももしっかり取組みます。

# 介護と看取り「尊厳ある死」を迎えるための施策を

## 《介護》 新サービスの利用を

●軽費負担の介護施設の不足から入所がかなわず空きを待つ状況下、過重な介護負担にお悩みの家族にわずかな朗報として、定期巡回・随時対応サービスが新設されました。市はこのサービスの拡大普及に努めるとともに、公営及び公的住宅の建替えや再整備に際し、軽費老人ホームの拠点整備に積極的に取り組むよう12月議会で要請しました。

## 《定期巡回・随時対応サービスが新設》

(平成24年度の介護保険法改正)

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送れるよう、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで提供、介護と看護の一体的なサービスが特徴。

◆市内での事業所開設状況は現在では三ヶ所で宝山町に開設された事業所が市内東側エリア、寺内が西側エリアでそれぞれサービスを提供しています。その内の一か所は都市計画法上の問題解決に私が取組んだUR新千里西町にあるサテライト事務所で、市内北側エリアを担当します。また、来年6月には四か所目が大島町で開設され南部地域を担当する予定です。

## 《看護》 選択可能な社会を

●「尊厳ある死」を自らの意志で選択できる「ホームホスピス」を利用することで、医療保険財政や多死社会を迎えるにあたって病院収容能力の改善にも有効であること。また、この問題は複雑な問題を含んでおり部局間の連携が大切だと提案しました。



## 《ホームホスピスの利用》

◆老衰や認知症、末期がんなど余命少ない高齢者らが民家で共に生活し、本人と家族が最期の時間をより良く過ごせるよう支援する「ホームホスピス」。看護師と介護士が24時間態勢で見守り、調理師やボランティア、在宅医療の医師らも関わることで、本人も家族も安心して「平穏な日常」を過ごせるということで全国的に注目されている。

◆延命医療はせず、普段通りの暮らしの中で穏やかな看取り（みと）りを実現することが目的で、この制度の普及には家族への支援、周辺住民の理解や協力、病院や施設で死ぬことが普通となった社会の価値観を変えていく必要がある。

## ・・言いたい放題・・

政治や経済が停滞して日本人はすっかり自信を無くした。言われるところの「失われた20年」は日本人の心を暗くし、日本の国際的地盤沈下にもつながっていく。更に、国力の低下を待っていたかのような中韓両国の理不尽な対決姿勢が追い打ちをかける。

こうした弱り目に祟り目の状況に、今年は変化の兆しが見えてきた。デフレ脱却と経済の先行きにはほのかな明かりが見えてきたことだ。

ただ経済成長が本物になるかどうかの瀬戸際であるだけに「消費税アップ」の反動に微妙な

かじ取りが政府に求められる。

ここで国民にとって大切なのは前向き思考と明るさだ。病も景気も「気持ちの持ちよう」とはよく言ったものだ。

幸いにもこうしたことを後押しするフォローの風も吹いてきた。「富士山の世界遺産」への登録、「和食；日本人の伝統的な食文化」のユネスコ無形文化遺産登録、何ととっても大きいのが2020年東京オリンピックの招致決定だ。

今こそ日本の文化・伝統に自信を持ち、世界の信頼に応える絶好の機会が到来した。

世界に示そう日本の底力を…

